

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

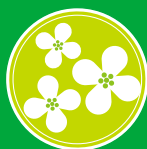
2012
平成24年

2.15

椿の道に 息づく歴史！

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらしティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 田原の新名物誕生!?「キャベコロ」……………2ページ
- 私たちは菜の花咲かせ人……………3ページ
- 地域の話題(田原南部校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

市民発!

田原の新名物誕生!?「キャベコロ」

皆さんこんにちは。広報サポーターの鈴木理絵です。今回は、地元の農産物キャベツをふんだんに使った「キャベコロ」を試作した『味探検グループ』をご紹介します。



鈴木理絵

キャベコロ

その名のとおりキャベツをたくさん使ったコロッケです。このキャベコロを試作しているのは、神戸校区の『味探検グループ』の皆さんです。グループ代表の福井佐和子さんにお話を伺ってきました。



▲『味探検グループ』の皆さん。
「お好みでニンジンやシイタケ、塩コンブを入れたり、カレー粉を多めに入れたりするなど、アレンジするのもオススメ!」

キャベコロは、神戸校区のまちづくりの一環として田原の特産品を使って料理を作ろうという話になり、全国でも有数の生産量を誇るキャベツをメインに使うことにしたのでそうです。家庭で簡単に、思い立ったらすぐ作れるように、いろいろ工夫されています。

『味探検グループ』によるキャベコロのレシピは、市内の女性農業者グループ「農村輝きネット・あつみ」が主催した料理コンテスト(昨年12月)で最優秀賞を受賞しました。そして、これを足がかりに、キャベコロをご当地グルメとして売り出そうと張り切っています。評判を聞きつけた飲食店が、キャベコロをメニューに加えるなど、広がりを見せています。福井さんたちは、「キャベコロで地元野菜をいっぱい食べてほしい。地元のお祭りでも出品していきたい」と話しています。



●キャベコロのレシピ

【材料】(4人分)

- キャベツ……………1/2個(約600g)
- タマネギ……………1/2個(約100g)
- 豚ひき肉……………100~150g
- サラダ油……………少々
- 塩コショウ……………少々
- 卵……………1個 ● 牛乳……………大さじ1
- 小麦粉……………大さじ3
- カレー粉……………小さじ1
- 【衣など】
- 小麦粉……………適量 ● 卵……………1個
- 牛乳……………少々 ● パン粉……………適量
- 揚げ油……………適量



- 1 キャベツを千切りまたは1cm程度のざく切りにし、しんなりするまで炒め、塩コショウする。(または、沸騰したお湯に少量の塩と油を加えてしんなりするまでゆでる ※電子レンジ可) 水分をしぼる。
- 2 タマネギをみじん切りにし、油をひき炒め、塩コショウする。
- 3 豚ひき肉、卵、小麦粉、牛乳、カレー粉と①と②を混ぜ合わせ、8~12等分し俵型にまとめる。
- 4 小麦粉、溶き卵(牛乳を少々加える)、パン粉の順に付け、180℃の油できつね色になるまでからっと揚げる。



●河合さん(左)と渡辺さん(右)は2人合わせて152歳



●菜の花ガーデンにある見晴し台への階段も手作りです



●菜の花迷路を散策する親子たち

●お問い合わせは渥美半島観光ビューロー
TEL 0851-622006 FAX 0851-622006
http://www.taharakankou.gr.jp/

渥美半島菜の花まつりは、3月31日まで開催されます。物産店やクイズラリーなどイベントが盛りだくさんですので、ぜひ一度足を運んでみてくださいね。

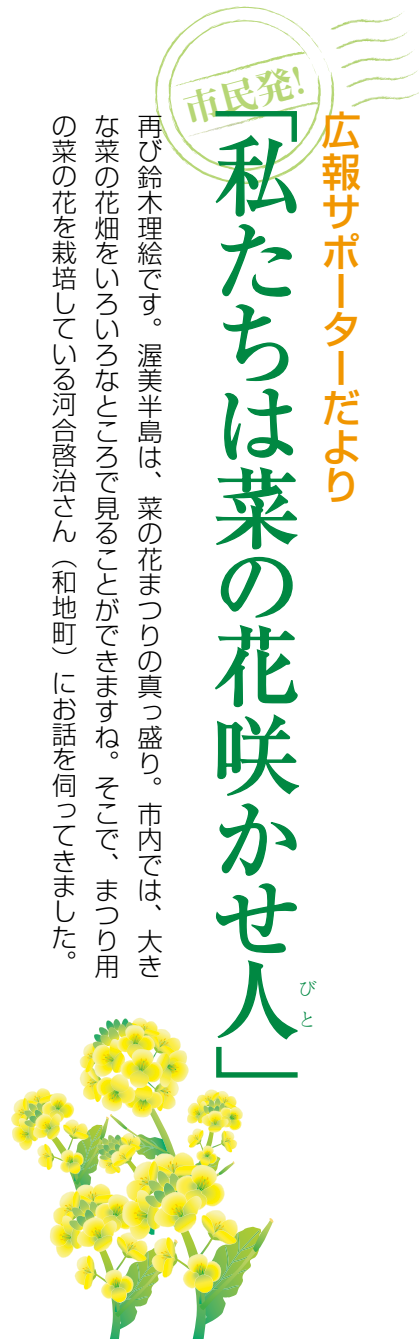


菜の花の特徴は、寒さにとっても強いことです。渥美半島は冬でも比較的温暖な地域で、氷点下まで冷え込むことはほとんどありません。伊良湖フラワーパーク(H17閉園)に勤務していた河合さんがこれに注目し、平成8年に「夏の海水浴に引けを取らないくらい、渥美半島を菜の花で有名にしたい」と考えたことが、菜の花まつりのきっかけとなったそうです。

菜の花の栽培は、前年の8月から始まります。畑をトラクターで耕し、肥料をまき、9月中旬から11月末にかけて約600リットルもの種をまきます。早咲きと遅咲きの種を混ぜて、1月

上旬から3月末まで開催される菜の花まつりの期間中、ずっと楽しめるように工夫しているのだそうです。そして1月からは、観光客にプレゼントする菜の花を切ったり、イベントを手伝ったりと大忙しです。

河合さんは、「海水浴シーズンが終われば、伊良湖の観光客は激減していたけど、今では夏以上の集客を見込めるイベントも行われるようになりました。これからも菜の花で渥美半島をもっと盛り上げていきたい」と意気込みを語ってくれました。



▲菜の花イルミネーション

市民発!

広報サポーターだより

「私たちは菜の花咲かせ人」びと

再び鈴木理絵です。渥美半島は、菜の花まつりの真っ盛り。市内では、大きな菜の花畑をいろいろなところで見ることが出来ますね。そこで、まつり用の菜の花を栽培している河合啓治さん(和地町)にお話を伺ってきました。

田原南部校区

次世代へ「盆踊り」を！

「盆踊りを知らない子どもたちのために」と
田原南部校区では、若者が中心になって盆踊りを復活させました。
関係者の方に、お話しを伺ってみました。

青 年会の解散に伴い、約10年前
になくなってしまった盆踊り。それを復活させようと、田原南部校区の若者たちが「やぐら会」を

立ち上げ、盆踊りを中心とした「夏まつり」の開催が始まりました。そこには、どんな思いが込められているのでしょうか。



▲高さ5mもある櫓(やぐら)。上からの眺めは圧巻

盆踊りの主役は「やぐら会」

杉原伸二さん（平成23年度代表）

―復活に取り組んだ理由は？

青年会がなくなり、若者が参加できる校区の行事が少なかったということ、それから、「子どもが盆踊りを知らない」というのも大きな理由です。盆踊りを次世代に伝え、継承してほしいと考えています。

―復活までの道のりは？

何から手をつけていいかわからない状態でしたが、当時の校区総代に相談したら、「若者中心で実行委員会を立ち上げれば、校区行事として費用の一部も負担できる」と言っていたので、うれしかったです。一番苦労したのは人集めでした。組の集会に出たり、農作業中の若者に片っ端から声をかけたりしました。その甲斐あって、平成19年度に第1回目の「夏まつり」を開催でき、老若男女



▲杉原代表(右)と中神校区会長(左)

問わず約300人もの人が集まってくれました。今では、各組が屋台を出してくれるようになりました。―これからの方向性は？

一時の復活で終わることなく、運営を次の若手に引き継いでいくことが大事だと思います。それと、『大久保音頭』がスローテンポなので、もっと親しまれるような編曲も必要だと思います。

夏まつりに期待すること

中神進さん（平成23年度校区会長）

昔は、太鼓や踊りの練習が聞こえてくると、夏を実感したのですが、そんな風物詩を、校区の若手が復活させてくれるうれしく思います。夏まつりを通して、校区民の絆が一層深まることを期待しています。



▲ずらりと並んだ地元有志による屋台



市民活動を応援するページ

提案事業を募集！ 平成24年度 田原市の市民協働まちづくり事業補助金

皆さんの創意工夫で まちを元気に！

市民の連帯や地域振興・市民公益活動の促進を目的とした補助金です。市民活動団体が提案する公益性の高い活動の自立を促すもので、「市民協働まちづくり方針」に基づき、平成21年度からスタートしています。市民感覚の自由な発想で、創意工夫を凝らした提案事業を募集します。

対象事業 市内で実施、また市民に対して実施される事業で、公共性・公益性が期待される「福祉」「まちづくり」「環境保全」「子どもの健全育成」などの活動で、平成25年2月末日までに完了するもの

対象団体 市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体

補助額 1事業につき補助対象経費の1/2（上限20万円）

募集期間 3月1日（火）～4月9日（月）（午後5時15分必着）

※応募の状況により二次募集を実施します。

申請方法 市民協働課で配布する申請用紙に必要事項を記入して直接提出
※申請用紙は市ホームページからもダウンロード可

(<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)

審査方法 書類審査・公開審査会での提案説明（4月）

《平成23年度事業報告会》一公開一

今年度の補助事業採択団体が、事業概要・効果、今後の展望などを発表します。補助申請の参考にもなりますので、ぜひご聴講ください。

●日時：3月20日（火）・（祝）午後3時～ ●場所：田原文化会館201・202会議室

●申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

その他 制度の概要、申請書の書き方など応募に関するご相談は、市民活動支援センター（開設日は頁下段を参照）で随時対応します。また、事業報告会后、個別相談を受け付けます。お気軽にご相談ください。



委員募集

たはらの市民協働について一緒に考えよう！

「市民協働まちづくり会議委員」を公募します。

市民参加と協働によるまちづくりを推進するため、各分野の主体が、それぞれの役割を認識し、互いに協議する場として、「市民協働まちづくり会議」を設置しています。会議は、市民代表、団体関係者、学識経験者などで構成しており、今回はそのうち「市民代表」を募集します。

●**応募資格** ●市内に在住・在勤・在学の方
●市内でボランティア活動に参加している方

●**募集人員** 3名以内（任期は平成26年3月31日まで）

●**募集期間** 2月20日（月）～3月19日（月）

●**応募方法** 市民協働課で配布する応募用紙に必要事項を記入して直接・ファックス・Eメールにて。応募用紙は市ホームページからもダウンロード可（<http://www.city.tahara.aichi.jp/>）

●**選考方法** 応募者多数の場合は、市の選考により決定

●**その他** 報酬等無し／「市民協働まちづくり方針」改訂のため、平成24年度は会議を5～6回開催予定



応募・お問い合わせ ▶ 市民協働課 ☎ 23局 3504 ☎ 23局 0180 ✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp

田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

■ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎ 22局 1111（内線812）※ 開設時間のみ ☎ 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールリポート

SCHOOL REPORT 43

学校生活の
一コマを紹介

今回は、校内長距離走駅伝大会や、整備したランニングコースで、体と心を鍛える様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

東部中学校「校内長距離走駅伝大会」



駅伝で生まれる絆と強い心！

東部中学校では、毎年12月に校内長距離走駅伝大会を行い、男子は約1.7km、女子は約1.4kmを走ります。長距離走の部では、1～3年生が男女に分かれ走り、駅伝の部では、各クラスで選抜された男女8名が練習の成果を発揮し、精一杯走ります。

大会の2週間前から、授業後20分間の「東中タイム」を設け、全校で練習を行っています。全クラスで競うため、みんなで選手を応援し、大変盛り上がります。また当日は、PTAの皆さんが準備した豚汁を味わいます。

体育委員長の生徒は、閉会式で「全校のほとんどの人が練習から全力で取り組んでいることにとても感動しました。この全力で取り組む姿勢を、これからの学校行事にもつなげていきたい」とあいさつをしました。

今後も、何事にも一生懸命取り組める東中生を育てていきたいと思います。



●寒さに負けずに力一杯走りました



●心のこもった豚汁はおいしいよ



●ラインを引いて、走りやすいコースに！



●新たに舗装したコースが完成しました

田原中学校「魅力ある学校づくり」

ランニングコースで体と心を鍛える



田原中学校では授業後、部活動に取り組む生徒の大きなかけ声が学校中に響きます。一日の中で活気にあふれる時間です。今年度は、その成果が県大会で現れ、陸上競技部男子とソフトテニス部女子が優勝、ソフトテニス部男子が準優勝し、東海・全国大会へと進むことができました。

以前から、部活動の際に校舎周辺を走って鍛える部がありましたが、舗装されていない箇所などのため、雨上がりの日には走れないことがよくありました。そこで、「魅力ある学校づくり推進事業」を利用して、コースを舗装し、ラインを引くなどして整備しました。その結果、運動場の状態がよくない時や、行事で体育館が使えない時でも、効率よく練習ができるようになりました。

生徒たちは自分たちの目標を目指し、苦しい走り込みでも、仲間と励まし合いながら、心と体を鍛えています。



▲実技披露で児童チームとミニゲームを行う田中選手(ゼッケン2)

1月26日(木)
プロの技や志に触れようと**その道の達人に学ぶ会**が田原中部小学校で開催され、同校児童など約440名が参加しました。講師を務めた名古屋グランパスの田中隼磨選手は、「夢は努力しないとかなわない。目標を見つめてがんばって」と子どもたちを激励しました。

たゆまない努力が
プロへの道を開く



▲名古屋市大須商店街で活躍するアイドルグループOS☆Uの皆さん
一日船長を務めました

1月22日(日)
フェリーの魅力発見! OS☆Uと行く伊勢湾クルーズが鳥羽伊良湖航路のフェリー船内で開催され、市内外から約40名が参加しました。フェリーの利用促進を目的に催されたこのイベント。参加者はライブや記念撮影などとともに船旅の楽しさを味わいました。

船旅の魅力を
伝えます!

頑張れ! 田原こころ

全国大会などに出場した皆さんをご紹介します。皆さんの活躍に期待します!

◆全国都道府県対抗中学バレーボール大会
(大阪府大阪市「12/25〜28」)



◎愛知県選抜チーム
辻彩乃さん
(泉中3年)

◆全国小学生クロスカントリリー
研修大会(大阪府吹田市「3/17・18」)



◎田原陸上クラブ

【写真上段左から】河合陽平くん(神戸小6年)、杉原寛紀くん(若戸小6年)、本多創郎くん(童浦小6年)、緒方空哉くん(田原東部小6年)
【下段左から】河合穂波さん(野田小6年)、平松琴美さん(童浦小5年)、成清愛美さん(豊橋市大崎小6年)、鈴木保乃花さん(赤羽根小5年)

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

2月は省エネルギー月間です

増加し続けているエネルギー消費量。その約3割を占める家庭でのエネルギー消費を抑えることは、電力不足だけでなく地球温暖化の防止にもつながります。そこで、一人ひとりが今すぐにできる、省エネのポイントをご紹介します。

エアコン

暖房の設定温度は20度を目安に。外出する際は、直前ではなく早めにスイッチオフする。窓には厚手のカーテンを掛ける。

照明

消費電力の少ないLED電球などの省エネ型照明器具に買い替える。かさの汚れを掃除することで、照明効率がアップ。

冷蔵庫

冬季の設定は「弱」に。また、扉の開閉回数や開閉時間をできるだけ抑え、食品をつめこまないようにすることで、冷却効率がアップ。



LEDってどんなもの？

LEDとは、Light(光る)、Emitting(出す)、Diode(ダイオード)の、それぞれ3つの頭文字を略したものです。発光ダイオードとも呼ばれています。



LEDのメリットとして、消費電力が少ないことが挙げられます。白熱灯と比べると、LED電球の消費電力は約7分の1から8分の1ほど。4万時間使用した場合、電気料金は約4万4000円分お得です。その価格の高さが導入のネックとなっているLEDですが、白熱灯と比較すると、定格寿命は約40倍。長い目で見れば経済的です。掃除をしにくいところや、取り替えにくいところなどから、設置を考えてみてはいかがでしょうか。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1740人 事業所80か所(1月末現在)

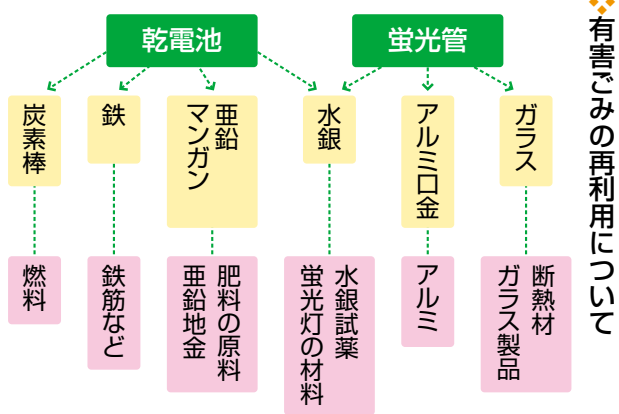
エコエネ推進室

23局7401 FAX 23局0180

有害ごみの再利用について

蛍光管や乾電池など、有害な物質が含まれているものや、水銀を使用した体温計や鏡などをいいます。

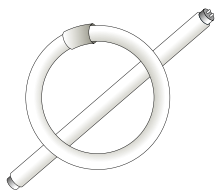
有害ごみと聞くと、危険で処理が難しいと思われるがちですが、実は再利用されています。今回は、有害ごみについてお知らせします。



有害ごみの出し方は？

◆蛍光管(直管、丸形、ボール形)
箱などから出して、割れないように気をつけてコンテナへ出してください。

※電球や割れた蛍光管は、もやせないごみとして出しましょう。



乾電池(マンガン、アルカリ)

◆体温計、鏡
直接コンテナへ出してください。

※充電電池、ボタン電池は家電販売店の回収ボックスに出しましょう。



有害ごみも大切な資源です。有害ごみの出し方を参考に、専用のコンテナへ出してください。



清掃管理課

23局3538 FAX 23局0180

RRR Reduce Reuse Recycle

省資源とリサイクル

けいじばん 46

ゴミゴミとリサイクルランジャー

交 流 通 信

【国内外との交流・多文化共生】

姉妹都市 設楽町との『菜の花交流』

田原市内で行われた菜の花交流の様子をご紹介します。

●交流のきっかけ

平成14年12月、上流域から届く「水」への感謝の気持ちを込めて、旧田原町農業委員会が旧津具村（現設楽町）の津具保育園に菜の花を贈りました。これがきっかけとなり、今年で交流10周年を迎えました。

●設楽町の保育園児にひと足早い春を！



▲大きく口を開けてイチゴをパク！ 大久保町の本多さんのハウスで「イチゴ狩り」を行いました。園児たちはたくさんなったイチゴを見て大喜び。真っ赤に熟したイチゴを

今回は、設楽町の津具保育園から16名、名倉保育園から9名の園児が田原市にやってきました。

まず、園児たちは

次々とはお張りしました。

そして菜の花畑に移動した園児たち ▲菜の花畑で春を満喫！

満開の菜の花の間を元気いっぱい駆け回り、ひと足早い春を楽しみました。

受け入れを行ったNPO法人田原菜の花エコネットワークの皆さんは、「上流域からきれいな水が届くおかげで菜の花が元気に育つ」という気持ちで園児たちをもてなしています。



▲NPO法人田原菜の花エコネットワークの皆さん

みんなが笑顔になるこの交流が、これからも末永く続いていくといいですね。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

平成22年1月から、古くなった消火器をリサイクルする制度『廃消火器リサイクルシステム』の運用が開始されました。処分方法は、次の3通り（有料）です。他の方法では処分できませんので、ご注意



◆処分方法は？

消火器の交換の目安は8年程度です。8年未満のものでも、容器に錆びや傷みがあるもの、粉末式で中の粉が固まっているものは、交換しましょう。使えないだけでなく、破裂する場合もあります。

◆消火器の耐用年数は？

こんにちは、けんちゃんです。火災発生時、初期消火には消火器が有効です。皆さんのご家庭にある消火器は、古くなったり、傷んだりしていませんか。今回は、消火器の処分方法などについてご紹介します。

けんちゃん

防災知恵袋

10



みんなで取り組む防災・減災

消火器は適正に処分しましょう

ください。

1 回収を行う専門業者へ持ち込み

2 ホームセンターなどの販売店で

下取り

※詳しくは販売店にお問い合わせください。

3 ゆうパックで郵送

※詳しくは、ゆうパック専用コールセンターへお問い合わせください。

☎ 0120(822)306

●取扱い上の注意点

・ 不用になった消火器や古くなった消火器を放置しておく、破裂などの事故につながることもありま
すので、必ず右記の方法で処分
しましょう。

・ 自分で分解などの廃棄処理を行
わないようにしましょう。

・ 洗面所などの湿気の多い場所への
設置は、なるべく避けましょう。

・ 屋外に設置する場合は、風雨に
さらされないようにしましょう。

▼防災対策課 ☎ 23局3548



MEMBER OF COMMITTEE

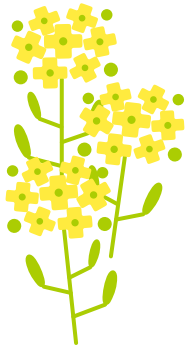
委員

人権擁護委員

新しい人権擁護委員に、山内靖子さん（江比間町）と森下静子さん（小中山町）が法務大臣から委嘱されました。任期は平成24年1月1日から平成26年12月31日までの3年間です。

▼福祉課

☎23局3512 FAX23局3545



募集

WANTED

田原市臨時職員

●渥美郷土資料館業務員

▼募集人員Ⅱ若干名 ▼対象Ⅱ土・日曜日、祝日に勤務可能な方 ▼勤務内容Ⅱ施設清掃、受付、書籍販売など ▼勤務形態Ⅱ週2日程度（月曜日を除く／祝日の場合は翌平日）

午前8時45分～午後5時15分 ▼採用期間Ⅱ4月1日～9月30日 ▼選考方法Ⅱ面接（詳細は後日通知）

▼賃金Ⅱ時給870円 ▼申し込みⅡ2月29日（水）までに渥美支所地域課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出

▼渥美支所地域課
☎33局1118 FAX32局2506

●学校臨時用務員

▼募集人員Ⅱ1名 ▼対象Ⅱ次の要件をいずれも満たす方 ①普通自動車免許をお持ちの方 ②心身ともに健康な方 ▼勤務場所Ⅱ大草小学校

▼勤務内容Ⅱ施設・設備の管理、給食の配膳および学校の管理運営のために必要な業務 ▼勤務形態Ⅱ原

則、月～金曜日（祝日を除く）午前8時～午後5時のうち6時間 ▼採用期間Ⅱ4月1日～9月30日 ▼選考方法Ⅱ面接（詳細は後日通知）

※3月7日（水）を予定 ▼賃金Ⅱ時給870円 ▼申し込みⅡ2月29日（水）までに教育総務課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出

▼教育総務課

☎23局3530 FAX22局3811

●田原市リサイクルプラザ業務員

▼募集人員Ⅱ若干名 ▼対象Ⅱ健康で、土・日曜日、祝日に勤務可能な方 ▼勤務場所Ⅱ田原市リサイクルプラザ ▼勤務内容Ⅱリサイクル品の受付、販売など ▼勤務形態Ⅱ週5日以内（月曜日を除く）

午前9時～午後5時（うち7時間） ▼賃金Ⅱ時給870円 ▼採用期間Ⅱ4月1日～9月30日 ▼選考方法Ⅱ面接（詳細は後日通知） ▼申し込みⅡ3月9日（金）までに清掃管理課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出

▼清掃管理課
☎23局3538 FAX23局0180

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180



「サントファーム」および「ふれあい農園」利用者

いずれも1区画20㎡（5m×4m）の広さで、利用期間は4月1日～平成25年3月31日、利用料は年額5000円です。

申し込み多数の場合は抽選により決定します。

■サントファーム

▼場所Ⅱ田原市野田町芦ヶ池地内 ▼区画数Ⅱ90区画 ▼申し込みⅡサントパークにある利用許可申請書に必要事項を記入のうえ提出 ▼受付期間Ⅱ2月20日（月）～3月2日（金）

午前8時30分～午後5時 ▼サントパークたはら

☎25局1234 FAX25局1235

■田原市民ふれあい農園

▼場所Ⅱ田原市田原町北荒井地内 ▼区画数Ⅱ50区画 ▼申し込みⅡ農政課または営農支援センターにある利用許可申請書に必要事項を記入のうえ提出 ▼受付期間Ⅱ2月20日（月）～3月2日（金）

午前8時30分～午後5時15分 ▼営農支援センター（赤羽根市民センター）

☎45局3114 FAX45局3419



「しおさい大学」

開催日		テーマ
田原地区	渥美地区	
4/20金	4/27金	健康フィットネス
5/16金	5/23金	講義 「予想される巨大地震」
6/13金	6/20金	講義 「食生活の大切さ」
7/18金	7/25金	水彩画教室
8/8金	8/22金	ニュースポーツ体験
9/19金	9/26金	まが玉作りに挑戦

☒ syogaku@city.tahara.aichi.jp

☎ 23局3531 FAX 22局3811

▼生涯学習課

号を明記)

は希望地区名・住所・氏名・電話番号を明記)

月23日(金)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合

だし材料費は実費) ▼申し込み3月23日(金)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合

地区」渥美文化会館ほか ▼時間11月23日(金)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合

おり ▼場所「田原地区」田原福祉センター・田原文化会館ほか「渥美地区」渥美文化会館ほか ▼時間11月23日(金)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合

豊かな人生をめざして ▼対象20歳以上の方優先) ▼開催日/テーマ表のとおり ▼場所「田原地区」田原福祉センター・田原文化会館ほか「渥美地区」渥美文化会館ほか ▼時間11月23日(金)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合

高齢者連続講座(前期)
「しおさい大学」受講生

生涯学習情報誌への広告

▼募集枠数＝表紙2枠、裏表紙10枠

▼掲載場所＝生涯学習情報誌(平成24年度上半期)の表紙および裏表紙/発行部数2万3000部 ▼広告のサイズおよび掲載料「1種広告」縦4.5cm×横8.5cm、表紙1回2万円/裏表紙1回1万5000円ほか(2種広告および割引制度あり)

▼申し込み3月15日(木)までに申込書に必要事項を記入し、署名・押印したものに広告原稿、会社概要などを添付して直接提出 ▼その他申し込みの際には、要綱・要領などの内容をご確認ください。(申込書および要綱などについては、田原市教育委員会ホームページにて入手)詳しくはお問い合わせください。

▼生涯学習課

☎ 23局3531 FAX 22局3811

HP http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/

▼日時3月4日(日)午前10時～午後3時 ▼場所＝蒲郡市民会館(蒲郡市栄町3-30) ▼内容＝式典

「ハート・イン・東三河」

「はつらの健康フェスティバル」

「ハート・イン・東三河」

「はつらの健康フェスティバル」

「ハート・イン・東三河」

「はつらの健康フェスティバル」

「ハート・イン・東三河」

(精神保健福祉功労者感謝状授与など)・講演会(家田莊子氏による講演会 午後1時～2時30分)・バザー・展示(作業所などの製品販売、関係機関の紹介など)・交流コーナー(作業所体験、ゲームなど)・相談コーナー(心の健康相談など) ▼その他「福祉まつり」(蒲郡市社会福祉協議会主催)が同日開催 ▼この日の健康フェスティバル「ハート・イン・東三河」実行委員会蒲郡市役所福祉課 ☎ (0533) 66局1106

生活

田原まつり会館臨時休館
3月6日(火)～16日(金)



田原中央線 拡幅に伴う構内工事のため、3月6日(火)～16日(金)の期間を臨時休館いたします。 ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▼商工観光課 ☎ 23局3522 FAX 22局3817

春季全国火災予防運動
3月1日(木)～7日(水)

これからの季節は寒さも和らぎ、火への注意も緩みがちになります。火災から命や財産を守るために、火の取り扱いには十分注意しましょう。



住宅防火7つのポイント

- 1 寝たばこは、絶対にやめる
- 2 ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使う
- 3 ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- 4 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- 5 火災の拡大を防ぐために、寝具や衣類・カーテンなどは、防災製品を使用する
- 6 火災を最小限に抑えるため、住宅用消火器などを設置する
- 7 お年寄りや体の不自由な方をを守るために、近所の協力体制を整えておく

▼消防課 ☎ 23局4074 FAX 23局0180

歴史探訪

クラブ! 其の 131
History Inquiry Club

文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

活かされた建物

●田原中部小学校の校舎

田原中部小学校は、平成16・17年に大改修が行われました。西端の古い校舎（RC造、昭和9年建築）は外装・内装を新たに、そのまま使われました。この校舎は、市内に残る古いRC造の建物の一つですが、耐震上問題もなく、それだけ構造がしっかりしていたのです。また、無駄を省いたシンプルなデザインなので、それに合わせて改修され、昭和初期の歴史の趣ある学び舎となり

●福江市民館（旧渥美町役場）



●新しく生まれ変わった中部小学校

ました。正面の校章も誇らしげです。また、同じ敷地内にあった田原町立技芸専修女学校（RC造・昭和5年）は、現在は田原市民俗資料館となっています。

福江市民館は、平成21年7月に開館しました。旧渥美町役場・渥美町商工会としても使われたこの建物は、昭和5年に昭和天皇の即位を記念し、福江町役場として建設されました。田原市を代表する古いRC造の建物で、正面の屋根・軒の凝った造りに、当時の設計者のこだわりが感じられます。このこだわりが、多くの優秀な職人さんたちを育てていったのでしょう。玄関は、今の時代に合わせて開放的な形に作りかえ



●旧福江町役場(昭和10年ごろ)



●現在の福江市民館

られています。市民館の前には、建築当時の写真や説明、由来が記された看板が設置されています。とても良いことだと思います。

今回ご紹介した歴史ある建物が残されたことは、大変喜ばしいことです。これらの建物には、地域の方々の思い出が詰まっています。そして、子どもからお年寄りまで、共通の思い出として、人々の心にも残り続けていくことでしょう。建物を通じて人々の心がつながっていく。とてもすてきなことだと思います。歴史というものは、そのような役割もあるのでしょうか。

過去に造られた建造物、日用品や道具、美術品など、今では手に入らない材料や手の込んだ意匠・発想は、新しいものを作り上げていく人たちに刺激を与えています。また、歴史の重み加われば、なおさらです。古

いものは新しい物や発想、時には未来を生きる原動力となります。思い出だけでなく、これらの建物にもそのような力があるに違いありません。

※RC造：鉄筋コンクリート造

（増山）

今月の「表紙」

池ノ原公園から椿公園に通じる小道は「椿の道」と呼ばれています。その昔、武家屋敷との境に植えられていた椿の木は生垣として残され、今でも面影を感じることが出来ます。椿の道を歩いていたら、昔は椿の蜜をおやつがわりにしたり、椿の実を集めたりしたことを思い出しました。（〇）

【表紙の写真】椿の道（田原町）